

整理番号	15-20	事務事業名	畜犬関係事業 (登録、狂犬病予防、野犬掃討等)		作成部署	市民環境部 市民生活課	電話	内線825
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	滝本 明	課長職名	武田 隆	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	S34	根拠法令等	狂犬病予防法・北広島市畜犬取締及び野犬掃討条例					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	狂犬病の発生を予防し、まん延を防止し、撲滅することにより、公衆衛生の向上を図る また、畜犬及び野犬による人又は家畜等への危害を防止し、社会生活の安定及び公衆衛生の確保を図る。							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	環境と共生する快適なまち	(第2章)
	節	環境保全	(第3節)
	施策	良好な環境の保全と創出	(第4施策)
目的 (ここから成果指標を導きます)	対象 (誰、又は何を)	社会生活における人及び家畜等	
	意図 (何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	畜犬及び野犬による狂犬病、その他の危害を防止する。	
手段 (ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	畜犬の登録・狂犬病予防注射接種の啓発・適正な犬の飼育の指導及び広報・野犬掃討
		17年度	同上

2 実施(ドウ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	会費・負担金				
	その他	1,974	1,964	2,082	2,082
	一般財源	1,412	1,377	1,804	1,804
	合計	562	587	278	278
人件費 (概算)	人数(年間)	1.00	1.00	1.00	1.00
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	9,000	9,000	9,000	9,000
総事業費 +		8,772	8,438	8,669	8,669

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	畜犬登録頭数	2912頭	2966頭	3000頭	3050頭
	狂犬病予防注射接種頭数	2102頭	2204頭	2250頭	2300頭
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	狂犬病予防注射接種率 (注射頭数 / 登録頭数)	72%	74%	75%	75%
	効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	1頭あたりのコスト (事業費 / 登録頭数)	2,897円	2,844円	2,890円

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等	近年のペットブームから、畜犬の数の増加が予想されるが、登録制度・狂犬病予防注射・飼養に関するマナーの向上の周知・指導がより重要となる。
---------------------------------	---------------------------------------------------------------------

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	狂犬病の予防に関しては、狂犬病予防法に定められているとおり、市が実施すべきものである。	
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	当事業は、畜犬・野犬に関するものであり、目的としては、妥当である。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	全ての畜犬を把握することは困難であり、概ね妥当と考えるが、犬の危害を防止するためには、登録・注射に関しより一層の周知が必要である。	
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	登録手数料 3,000円・予防注射済証交付手数料 550円であるが、他市ほぼ同額であり、適切である。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	狂犬病予防注射は、70%台で推移しているが、犬による危害の面からは、概ね成果が上がっているものとする。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト削減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	コスト的には効率的であるとする。	

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	畜犬・野犬の狂犬病予防・危害防止のため、また、飼い主のマナー向上のため、積極的に周知や啓発を行っていく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	狂犬病予防接種率を高めることや野犬の被害防止など、マナー向上のための啓発を強化していく。